

令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)の効果検証

| | | | | |
|---|---|-------------------|-----------|---------|
| 1. 交付金事業名 | ICT&SIBの活用により健康長寿化と扶助費の増加抑制を可能とする飛び地連携型大規模ヘルスケア事業 | | | |
| 2. 総事業費(円) | 24,408,058円(指宿市分) ※他自治体(山口県宇部市, 岩手県遠野市, 京都府八幡市, 埼玉県美里町) | | | |
| うち交付金額(1/2以内) | 12,204,029円(指宿市分) | | | |
| 3. 事業概要 (交付金を充当した事業) | <p>加速する高齢化と人口減, それに伴う医療費・介護給付費の増加に対し, 市民の健康寿命の延伸と, 扶助費抑制といった課題解決を図るため, 県境を跨ぐ5自治体が, ICTを活用することで連携し, これまでの健康施策の見直し, 及びSIB(ソーシャルインパクトボンド)の手法による大規模ヘルスケア事業の展開を図る。</p> <p>(1) 中間支援委託業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 事業の全体設計及び調整 ② 成果連動型委託契約・KPI指標の提示 ③ KPI達成にむけた推進支援 ④ 資金調達への対応 ⑤ 自治体と合同会社に係る契約事務対応 <p>(2) 評価委託業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 事業評価 ② KPI総合達成度の評価 ③ 医療費・介護給付費抑制効果分析 <p>(3) サービス事業者への委託業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ① システム利用業務 ② 運営業務 ③ 人材育成業務 <p>(4) その他諸経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 運動・スポーツ習慣化推進検討会委員出席謝礼等 ② 特別講習講師, フレイル講話医師謝礼 ③ 事業実施に係る消耗品, 印刷製本費, 通信運搬費 ④ 健幸アンバサダー養成講座開催のための自治体負担金 | | | |
| 4. R5事業終了時における目標値(KPI)に対する実績値 | 目標指標 | | 目標値 | 実績値 |
| | ① | 医療費・介護給付費の抑制額 | 1億3,900万円 | 2億800万円 |
| | ② | 健幸ポイントプロジェクトの参加者数 | 3,000人 | 1,792人 |
| | ③ | 健幸アンバサダーの養成人数 | 500人 | 561人 |
| 5. 数値以外の事業効果や実績 | <p>① 新規参加者の歩数変化では, 参加3カ月以降の平均歩数では1,683歩増加した。</p> <p>② 新規参加者のうち, 運動不十分層の割合が86%であり, 目標値60%以上をはるかに超えて参加者を取り込むことができた。</p> <p>③ 事業に参加したものの, 途中で脱落した参加者の医療費について, 推奨歩数に達成している方々は参加している方々とはほぼ変化はなかったが, 達成していない方々については, 参加していない方々と同様に医療費が増加している傾向が見られた。</p> <p>④ 年間を通して, 本事業に参加している方々の歩くための服装, シューズなどのスポーツ用品等の健康投資額の平均は6,164円/年であり, 参加者1,792人で試算したところ, 1,097万円と試算され, 健康投資額拡大の起因となった。</p> | | | |
| 6. 地方創生への事業効果 (選択肢は国の報告書に同じ) | ① 地方創生に非常に効果的であった | | 該当番号 | |
| | 例: 全てのKPIが目標値を達成するなど, 大いに成果が得られたとみなせる場合 | | | |
| | ② 地方創生に相当程度効果があった | | ② | |
| | 例: 一部のKPIが目標値に達しなかったものの, 概ね成果が得られたとみなせる場合 | | | |
| ③ 地方創生に効果があった | | | | |
| 例: KPI達成状況は芳しくなかったものの, 事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合 | | | | |
| ④ 地方創生に対して効果がなかった | | | | |
| 例: KPIの実績値が開始前よりも悪化した, もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合 | | | | |

| | | |
|---|--|------|
| 7. 今後の事業方針 (選択肢は国の報告書に同じ) | ① 事業の継続 計画通りに事業を継続する | 該当番号 |
| | ② 事業の発展 事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる | ③ |
| | ③ 事業の改善 事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または、行った) | |
| | ④ 事業の中止 継続的な事業実施を予定していたが中止する(または、した) | |
| | ⑤ 事業の終了 例:KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合当初予定通り事業を終了する(または、した) | |
| 8. 上記「今後の事業方針」を選択した具体的な理由と、今後の事業方針の具体的な内容 | <p>令和3年度及び5年度に実施した医療費・介護給付費分析において、推奨歩数を超えるウォーキングを継続して実施していくことで、医療費・介護給付費分析に一定の抑制効果が確認できたことから、今後、医療費・介護給付費の分析は実施しないとしている。</p> <p>令和6年度の健幸ポイントプロジェクト事業の実施については、令和5年度の実績において、KPIの達成に向けて、事業所回りを実施したことにより、事業所ごとの加入もあったことから、令和5年度の新規加入者を考慮し、一般財源のみにより実施していくこととなった。</p> <p>令和7年度以降については、市民の健康づくりと医療費・介護給付費抑制に寄与する事業であることから、委託料等において、できる限り費用を掛けず、事業が継続できる仕組みがないか、委託会社と内容等について協議・検討を行っていくこととしている。(③事業の改善)</p> | |
| 9. 事業評価等を踏まえた指宿市まち・ひと・しごと創生総合戦略の見直しの有無 | なし | |
| 10. 事業評価等を踏まえた指宿市まち・ひと・しごと創生総合戦略の見直し(案) | なし | |

令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)の効果検証

| | | | | |
|---|---|-------------------|------------|------------|
| 1. 交付金事業名 | 指宿版DMOをプラットフォームとしたデジタルマーケティングによる観光振興「ALOHAなまち指宿」再生プロジェクト | | | |
| 2. 総事業費(円) | 48,021,582円 | | | |
| うち交付金額(1/2以内) | 24,010,791円 | | | |
| 3. 事業概要 (交付金を充当した事業) | <p>【いぶすき観光デザインをコーディネーターとした統一的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルマーケティングや観光DXの推進 <p>【“食”と“体験”をフックとしたコンテンツの磨き上げと販売(誘客)推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源調査 ・アウトドアコンテンツ戦略策定(ターゲット設定及び企画商品コンセプト調査等) ・インバウンド誘客戦略策定(ターゲット設定及び企画商品コンセプト調査等) ・トライアル事業 <p>【国内外への情報発信の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いぶすき観光デザインを核とした観光DXを実現するための基盤整備事業 ・デジタルマーケティングによる情報発信事業 ・受入環境とデータ収集の基盤整備(ハード事業経費) | | | |
| 4. R5事業終了時における目標値(KPI)に対する実績値 | 目標指標 | | 目標値 | 実績値 |
| | ① | 食と体験コンテンツの開発数 | 3件 | 6件 |
| | ② | 食と体験コンテンツの販売事業者数 | 4件 | 3件 |
| | ③ | 新規作成動画年間視聴回数 | 2,000,000回 | 1,622,875回 |
| | ④ | 観光消費額 ※令和3年からの増額分 | 20億円 | 99.99億円 |
| 5. 数値以外の事業効果や実績 | <p>指宿市観光ビジョンの実現に向けて、具体的事業の推進並びに進捗管理、効果検証等を行うため、令和5年4月25日に宿泊業や農業、漁業、商工業等の各団体から組織する指宿市観光・経済戦略会議を設立し、本事業も同幹事会員を中心に積極的に参加いただき事業の推進を図った。</p> <p>市内事業所等関係者に対し、専門家によるセミナーを開催し、インバウンド等に関する動向等の情報提供を行うとともに、コンテンツ造成に向けたワークショップを開催した。また、希望者には、専門家における伴走支援も実施し、事業者が抱える課題の共有や解決策について、専門家より意見をもらう場を設けた。</p> <p>トライアル事業では、体験コンテンツの磨き上げを行い、福岡県で開催された商談会においてPRを行うことができた。</p> | | | |
| 6. 地方創生への事業効果 (選択肢は国の報告書に同じ) | ① 地方創生に非常に効果的であった | | 該当番号 | |
| | 例:全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合 | | | |
| | ② 地方創生に相当程度効果があった | | ② | |
| | 例:一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 | | | |
| ③ 地方創生に効果があった | | | | |
| 例:KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合 | | | | |
| ④ 地方創生に対して効果がなかった | | | | |
| 例:KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したと言えないような場合 | | | | |
| 7. 今後の事業方針 (選択肢は国の報告書に同じ) | ① 事業の継続 | | 該当番号 | |
| | 計画通りに事業を継続する | | | |
| | ② 事業の発展 | | ① | |
| | 事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる | | | |
| | ③ 事業の改善 | | | |
| 事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または、行った) | | | | |
| ④ 事業の中止 | | | | |
| 継続的な事業実施を予定していたが中止する(または、した) | | | | |
| ⑤ 事業の終了 | | | | |
| 例:KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したと言えないような場合当初予定通り事業を終了する(または、した) | | | | |

| | |
|--|--|
| <p>8. 上記「今後の事業方針」を選択した具体的な理由と、今後の事業方針の具体的な内容</p> | <p>KPI①: 本事業でトライアル事業を実施した販売事業者を中心に、新規事業者から新たな体験メニューの販売があり、KPIを上回る実績となった。2023年度から支援を実施している体験メニューについては、商品化に繋がるよう2024年度も継続した支援を実施する。</p> <p>KPI②: 販売事業者については、教育旅行等団体旅行向けの体験コンテンツ等を販売する体制が主となっており、新規の販売事業者数はKPIを下回る結果となった。2024年度は、受入体制の基盤整備を実施し、販売事業者間の連携により、旅行形態や需要に応じた受入体制の構築を図るとともに、受入数の拡大を目的とした新規販売事業者の増加を図る。</p> <p>KPI③: 2023年度に新たに作成した動画について、計画時の見込みより、動画作成のための素材撮影、ロゴ、キャッチコピーの選定等に期間を要し、完成が2024年1月となったことから、視聴期間が短くKPIを下回った。WEBやSNSと連携したメディアミックスによるイメージ戦略の効果は、成果の可視化が可能であるとともに、大きな効果を見込めることから、令和6年度も継続し、動画視聴回数の達成を図る。</p> <p>KPI④: 主要観光施設等における対面調査による結果では、一人当たりの観光消費額単価は、県内宿泊客17,625円、県外宿泊客28,941円、日帰り客3,827円であった。また、2023年度の入込客数見込みは、日帰り客2,877,541人、宿泊客436,099人となり、コロナ前の2019年度と比較し、宿泊客で約75%、日帰り客で約93%まで回復傾向が見られる。「指宿市観光ビジョン」においては、2027年の観光消費額の目標値を2019年の20%増の458億円と定めており、CRMシステムの活用によるスタンプラリーやバル機能の活用、並びに開発した動画等を活用した情報発信による入込客数の増加を図るとともに、周遊観光のための環境整備を実施し、滞在期間の延伸に伴う観光消費額単価の増加に並行して取り組む。また、CRMシステムにより得られた消費行動データの蓄積による観光地経営を推進する。</p> |
| <p>9. 事業評価等を踏まえた指宿市まち・ひと・しごと創生総合戦略の見直しの有無</p> | <p>なし</p> |
| <p>10. 事業評価等を踏まえた指宿市まち・ひと・しごと創生総合戦略の見直し(案)</p> | <p>なし</p> |